

# あま市給食における食物アレルギー対応検討委員会(書面会議)回答一覧

## 1 議案

### 委員長及び副委員長の選出について

委員長は吉川 誠氏、副委員長は岩井 小百合氏が選出されました。

## 2 議題

### (1) あま市給食における食物アレルギー対応検討委員会要綱の一部改正について

- ・ ご意見等はありませんでした。

### (2) あま市給食における食物アレルギー対応の基本方針及びマニュアルの修正について

- ・ マニュアルについては、今回のようにその都度改定が必要かと思う。毎年行われるアレルギー主任者会でも、各校の意見を吸い上げてほしい。
- ・ 給食センターの対応から緊急時の対応まで事細かく書いてあり、わかりやすいと思います。食物アレルギーに関しては、情報共有がとても大事だと思うのでこれからも随時改定をよろしく願いいたします。
- ・ マニュアルに関しまして、小中学校編（P26）と保育園編（P66）に掲載の心肺蘇生とAEDの手順につきまして、同封させて頂きました「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた市民による心肺蘇生法について（指針）」によりご対応いただきますようお願いいたします。収束となりましたら従前の方法に戻りますので、変更通知等があり次第ご連絡させていただきます。

### (3) あま市食物アレルギー対応の現状について

- ・ 学校での対応が重要になってくる。エピペンを預かる児童が次年度2人に増える本校では教室でアナフィラキシーを起こしたときの想定実施訓練を実施するなど意識を高めるよう努めている。どの学校でも、こうした訓練の必要性はますます高くなっていくと思う。センターで講師等を訪き、各校を回るようなことも考えたらどうかと思う。
- ・ アレルギーを有する児童生徒等が増加している中で、えび、かに等の使用頻度が減らされているのはありがたい。除去食対応も追加されるとなおよいと思う。
- ・ 小中学校でも保育園でも、食物アレルギー申請者数は年々増えており、今後も増

加されることが予想されるので、より一層注意深く対応していただきたいです。

- ・ 5年前よりも倍近く申請者数が増えている。この状況を踏まえ事故の起こらないように対応していきたい。
- ・ 牛乳、卵以外の食物アレルギーの事例はどうか。
- ・ 資料3「あま市小中学校における食物アレルギー対応申請数」につきましては、年度切替後、早い段階で共有することが可能でありましたらお願いいたします。
- ・ 現在、卵のみの除去となっていますが、今後除去する食材（乳・小麦など）の対応についてはどのように進めていく予定でしょうか。

#### (4) ヒヤリハット事例について

- ・ 対象の物だけを抜いて汁物やおかずを食べさせたいという要望は多い。原因物質の完全除去対応を根気強くお願いするとともに、給食センターの方でも除去食対応の品目を増やしていく等の対策をお願いします。
- ・ あってはならない見落としの事例があったので、確認作業を徹底していただきたいです。エピペン使用例で、多くが教職員の方々がエピペンを打っていて、これは日頃からいつ何があってもパニックにならず冷静に対応できる訓練をされているからだと思います。今後もこのような訓練を続けてくださることを望みます。
- ・ あま市給食における食物アレルギー対応の基本方針の中にある安全性確保のため食物アレルギーの原因食物の完全除去対応を原則としていることを各学校で周知徹底していただき、アレルギー対応が完全に解除されるまでは二者択一の対応をお願いしていきたい。
- ・ エピペンは、アナフィラキシー反応が出現した時は、躊躇なく使用することを肝に銘じてください。
- ・ 保育園の事例は、職員に原因があるため、アレルギーの対応について職員の危機管理意識を高めることで、一人一人が責任をもって対応できるようにしています。給食センターにおかれましても複数回のチェック等の対応を引き続きよろしくをお願いします。

#### (5) その他ご意見をご記入ください。

- ・ いつもおいしい給食を提供していただきありがとうございます。今後も引き続きよろしくをお願いします。